

第 2 学年松組 算数科略案

指導者 大須賀 章子

1. 日 時 7 月 3 日 (木) 2 校時 (9 : 20 ~ 10 : 05)
2. 単元名 何十の計算 (1 / 2)
3. ねらい ○ 10 を単位とする数の見方を, 何十+何十, 百何十一何十の計算に適用する。
4. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備 考
9:20	1. 問題把握。	・ 絵の掲示	・ 色紙は, ぜんぶで何まいありますか。問題提示をする。	
9:25	2. 式を確認する。 3. 課題を確認する。 どうやって, けいさんするのかな。	・ ア 数えだし ・ イ 50 と 50 で 100。 100 と 20 で 120。 ・ ウ 10 のまとまりに着目し $5 + 7 = 12$ だから, ぜんぶで 120。 考えを類型化する。		
9:30	4. 自力解決する。			
9:37	5. 考えを発表する。	・ ア, イ, ウの考えをもとに, どの考え方が最も便利かを考えながら話し合うようにする。	・ 10 のまとまりを使うと便利なことを提示する。	
9:45	6. 問題を把握し, 立式する。	・ 絵と文の提示	・ 色紙は, ぜんぶで何まいありますか。問題提示をする。	
9:50	7. 考え方の確認する。	・ 10 のまとまりをもとにして考えると $12 - 3$ になり, 90 まいになることを確認する。	・ 10 のまとまりを使うと便利なことを提示する。	
9:55	8. 適用問題に取り組む	・ 何十+何十, 百何十一何十の計算問題に取り組む。 ・ 10 のまとまりで考える途中の式も問題に入れる。		
10:00	9. ふり返りをする。	・ 10 のまとまりに気づくと計算が簡単にできる。10 のまとまりを使うと便利。	・ 児童の発言を聞き, 助言, 実演する。	